

製品名: Dsg2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10181**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	DSG2
別名	DSG2; CDHF5; Desmoglein-2; Cadherin family member 5; HDGC
遺伝子 ID	1829.0
SwissProt ID	Q14126
免疫原	抗血清はヒト DSG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 401-450

背景

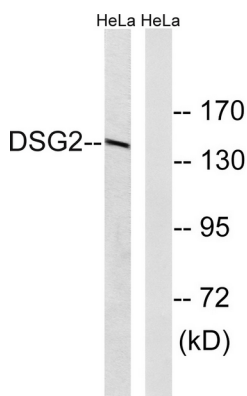
この遺伝子は、デスマogleインファミリーおよびカドヘリン細胞接着分子スーパーファミリーに属するタンパク質をコードしています。デスマogleインとは、上皮細胞、心筋細胞、その他の細胞間の細胞間接合部であるデスモソームを構成するカルシウム結合性膜

貫通糖タンパク質です。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟糖タンパク質へと変換されます。この遺伝子は、18番染色体上の他のデスモグレイン遺伝子ファミリーメンバーとともに遺伝子クラスターを形成しています。この遺伝子の変異は、家族性不整脈原性右室異形成症 10 と関連付けられています。[RefSeq 提供、2016年1月]、疾患：DSG2 の欠陥は、家族性不整脈原性右室異形成症 10 (ARVD10) の原因です[MIM:610193]。不整脈性右室心筋症 10 (ARVC10) としても知られる。ARVD は常染色体優性遺伝疾患であり、右室心筋の部分的変性、電気的不安定性、および突然死を特徴とする。臨床的には心電図および血管造影の基準によって定義され、病理学的所見として、心室心筋の脂肪および線維性成分への置換が認められ、特に右室自由壁に影響を及ぼす。、ドメイン：カルシウムはカドヘリン様リピートに結合する可能性がある。、機能：細胞間デスモソーム接合部の構成要素である。プラークタンパク質と中間径フィラメントの相互作用に関与し、細胞間接着を媒介する。、類似性：4つのカドヘリンドメインを含む。、組織特異性：検査した全ての組織および癌。、

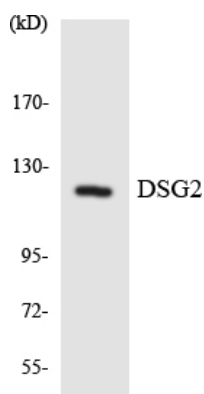
研究分野

不整脈性右室心筋症 (ARVC)

画像データ



DSG2 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DSG2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。

Dsg2 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

